

卒業号

R4.3.15



附属山口小だより

ひびき合い



明日につながる学びを創る ～学びの楽しさを実感できる学校～

第135回 卒業証書授与式

6年生のみなさん、保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。

本日の卒業証書授与式の校長先生の式辞です。今一度、ご覧いただけたらと思います。

第135回 山口大学教育学部附属山口小学校 卒業証書授与式 式辞

厳しい冬の寒さを耐えた生命（いのち）が芽吹き、春の光が輝きはじめたこの佳き日に、山口大学教育学部学部長、鷹岡亮様、PTA 副会長、棕木貴洋様、そして、保護者の皆様のご臨席を賜り、「第135回 山口大学教育学部附属山口小学校 卒業証書授与式」を挙行できますことは、卒業生はもとより、わたくしたち教職員にとりまして大きな喜びでございます。高席からではございますが、ご臨席の皆様衷心より感謝申し上げます。

本日、長い歴史と伝統のある山口大学教育学部附属山口小学校の課程を立派に修了し、巣立ち行く67名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

6年前、皆さんはお家の方に手を引かれ小学校に入学してきました。雨の日も風の日も、また暑さ寒さにも負けず、学校に通い、勉強や運動に励み、身も心も大きく成長しました。今日は多くの思い出と共に、この附属山口小学校を卒業する日となりました。今、ここに6年間を振り返った時、万感の思いが込み上げてくるのではないのでしょうか。この1年間だけでも、多くの思い出が脳裏に浮かびます。コロナ禍での1年ではありましたが、全力で走りきった運動会、すがすがしい皆さんの笑顔に感動しました。また、修学旅行で訪れた松蔭神社。「親思う心にまさる親心」親の慈愛の心をあらためて考えました。しかし、皆さんにとって、この6年間は楽しかったことばかりではなく、悲しかったことや辛かったこともあったでしょう。そんなときの友の優しさ、家族の有り難さに感謝し、この卒業証書の意味を考えてみることも、一つの区切り、節目として必要なことだと思います。

さて、先日、皆さんは大学の先生方と「学びセミナー」において、「学ぶとは」をテーマに議論をし、考えを深めたことと思います。わたくしも皆さんと一緒に考えました。そこで、卒業に当たり、『一生懸命に勉強することの意味』について、わたくしなりに一つの考えをお話します。

10年くらい前だったでしょうか、『風をつかまえた少年』という本を読みました。今から約40年前、アフリカ大陸のマラウイ共和国に、カムクワンバという名の少年が両親と妹の4人で暮らしていました。この国は電力の普及率が2%しかなく、少年の住む村も高価な電気を引くことができず、夜は暗闇の世界でした。水をくみ上げるポンプもなく、何時間もかけて水くみに出かけるのは子どもたちの仕事でした。ある年、この国は大干ばつに見舞われました。国中から食べ物がなくなると、飢えや病気で数千人の人が亡くなりました。少年は通っていた中学校をやめなければならなくなりました。しかし、少年は中学校に行けなくても、働きながら図書館で本を借りて勉強を続けました。そして、運命的な本と出会い、「自分で風力発電の仕組みを作って家に電気を通そう」と考えました。少年は廃材を集め、トラクターのファンを外して風車の羽根にしました。そして、アルバイトで動力となる自転車を買い、発電機を作りました。難しい風力発電の仕組みも本を読んで、独学で勉強しました。苦勞のあげく、少年は約3ヶ月で高さ5メートルの風力発電

用の風車の建設に成功したのです。それから7年間で、5台もの風車を村に設置し、村の人々は電力を得られるようになりました。

わたくしは、この本を読んだことを思い出し、「勉強する意味」について考えました。「テストでよい点を取るため」「高校や大学に入るため」でしょうか。この少年は、「暗闇から抜け出したい」「電気を通して、家族や村の人たちに喜んでもらいたい」、そのために勉強をしました。そして、困難を乗り越えて、手作りの風車を完成させました。少年には勉強することの切実な意味があったのです。今日のような豊かな社会に暮らす君たちにとって、「勉強する意味」とは何でしょうか。

わたくしが以前、見た映画に『最高の人生の見つけ方』という作品があり、その中に印象的な台詞がありました。古代エジプト人は、亡くなったとき、天国の扉の前で2つの質問をされるそうです。1つが「自分の人生に喜びを見い出せたか？」もう1つは「他者の人生に喜びをもたらせたか？」という質問です。このお話から、わたくしは、「勉強する意味」にも2つあるのではないかと考えました。どんな豊かな時代においても、1つは「自分の人生に喜びを見付けるための勉強」です。新たな知識を得て、昨日の自分とは違う、成長した自分に気付いたとき、勉強してよかったと感ずることが出来ます。もう1つは、「周りの人の人生に喜びをもたらすための勉強」です。少年のように暗闇に明かりをともし、水くみの重労働から村人を解放し、周りの人を幸せにできたとき、勉強してよかったと感じたことでしょうか。わたくしは、将来、自分だけでなく、周りの人も幸せにできる勉強をしてほしいのです。

皆さんが中学生になって、「何故、勉強しなければならないのか」そんな疑問にぶつかった時、『風をつかまえた少年』のことを思い出してください。勉強することは自分を成長させることです。そして、自分だけでなく、周りの人も幸せにすることができるのです。これからは、そんな勉強をしてほしいと思います。

結びにあたり、「父母の恩は山よりも高く、海よりも深し」と言います。愛情いっぱい、そして、かくも健やかな、お子様に育てられましたご家族の皆様にご敬意を表しますとともに、本日のご卒業に対しまして、お慶び申し上げます。併せて、在校中に賜りましたご協力、ご支援に対しまして、心からお礼申し上げます。これからも、親子の「心の絆」をしっかり結び、お子様が素晴らしい中学校生活を送られますことを、附属山口小学校教職員一同、心からお祈りいたしております。

また、本日の卒業証書授与式に際し、ご多用の中、ご臨席賜りましたご来賓の皆様をはじめ、祝文等を頂きました皆様のごこれまでのご厚情に感謝いたしますとともに、卒業生の限りない前途に「幸」多かれとお祈り致しまして、校長式辞とさせていただきます。

令和4年 3月15日 山口大学教育学部附属山口小学校 校長 吉鶴 修



卒業記念品ありがとうございました！

6年生から正門横の掲示板を卒業記念品としていただきました。

3月9日（水）の5校時終わり頃に除幕式を行いました。最初の掲示として6年生の1年生の時の集合写真と今年度の修学旅行の集合写真を掲示しました。6年生は、みんなとても嬉しそうに見ていました。

いただいた掲示板は、これから大事に使っていきたいと思います。

